



グループホーム 萌

あなたのふるさと
2月もえ



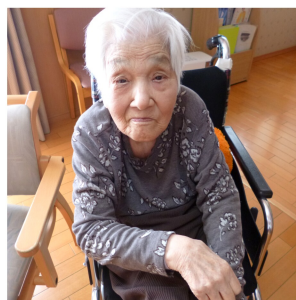
節分
一・二階、合同で節分に登場してもらおう前に、まずはラジオ体操、ストレッチをしました。豆を投げる腕や身体全体の準備の為です。



その後、輪になって風船バレーで盛り上がった後、身体も温まり準備万端！「鬼は外！」「福は内！」「福は内！」と掛け声を出しながら、豆に見立てた新聞ボールを、鬼に目掛けて一斉に投げま



した。今年もたくさんの方々が皆様にありますように。(二月三日) (二面にも記事があります)



風船バレーを先に楽しみました

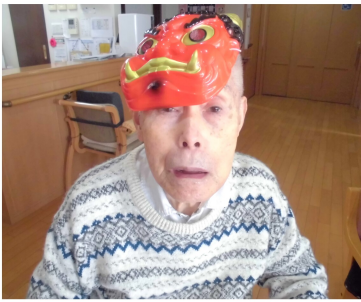
一・二階合同節分

節分ということで、合同で豆まきをしました。

皆様、とても楽しそうに、「鬼は外、福は内」と豆を投げられて

いました。
豆まきの後は、手作りのいなり寿司やおやつを食べて頂き、お腹も満足になりました。

「美味しいな」「可愛い鬼のまじゅうじやな」と楽しさと美味しきで素敵な節分会が出来、皆様のすばらしい笑顔を見せてくれました。旧年の邪気を払って、今年がよい年になることでしょう。(二月三日)



豆まきの由来

何故節分の日に豆をまくのでしょうか？

節分には邪気が入りやすい、節分は春を迎える立春の前日であり、「季節の分かれ目」と意味があります。

昔は冬から春になるのを新たな一年と捉えて、今で言う『大晦日』のような意味合いがありました。

季節の変わり目には邪気が入りやすいとされ、新たな一年の前に邪気を払うために色々な行事が昔から行われており、その一つが豆まきなのです。

豆は邪気を払う神聖なものであった。豆は「穀物の精霊が宿っている」として神聖なものとして見られていたので、豆まきだけでなく、神事にもよく使われていました。

また、**魔を滅する**という『**魔滅(まめ)**』という漢字が当てられ、豆をまくことで鬼を追ひ払う(魔を滅する)という風に使われています。

さらに、「鬼が出たとき、毘沙門天のお告げで豆をまいて鬼を退治した」という逸話もあります。

豆まきの正しいやり方

一般的には「その家庭の『主人』が鬼の仮面を被り、その他の人が豆をまく」というようなイメージがあると思いますが、本来のやり方としては正しくはありません。

豆をまくのがその家の『主人』の役割で、もしくは年女・年男・厄年の人がすると縁起が良いと言われています。

しかし、今ではそんな風習はあつてないようなものなので、そんなに気にする必要もないのではないでしょうか。

実際に豆まきをやる時の作法

鬼を家から追ひ出すイメージで、「鬼は外」で部屋から玄関の方へ豆を投げ、「福は内」で逆に部屋に向かって豆を投げます。これを部屋の奥から玄関まで順番に行なっていくます。

そして豆まきが終わったら、まいた豆や落花生を自分の年齢より一つ多く拾って食べましょう。

一つ多く食べるのは、「新年の厄払い」の意味があります。

ひな壇飾り付け

もうすぐ三月が来ます。三月はひな祭りが
あるので、利用者様達が協力してひな壇の飾



職員が先にひな壇の段組みを組
み立てています。いよいよこれか
ら飾り付けの始まりです。



きれいに飾り付けされたひな壇の前に、利用者の皆様が
勢揃いをされて記念撮影です。お人形達に合わせたように
皆様の表情もかしこまっているようですね。



利用者の方で、段組に赤い敷物を
敷いて頂いています。「そーっ
と、そーとな」と丁寧なされて
います。



ひな人形に負けず劣らずの利用
者様のお顔で、笑顔が溢れていま
すね。

り付けをして下さいました。
「私がこつちを持つとるから、そつちを引つ
張つてね」「これと、これを飾るんかな？」
「お雛さん、可愛いの〜」と口々に言われて
いました。
来月が楽し
みですね。



きれいにそれぞれのお人形達も
定位置に飾り付けを終えました。

散歩

来ました。

今日は天気も良かった
ので、皆で散歩に行つて

外は少し肌寒かったけど、きれいな花が
咲いていたので、皆さん喜ばれていました。
(二月二七日)



武本様 お誕生日

今日は武本様の七五歳の
お誕生日を迎えました。

皆様からのお祝いの言葉
に、少し照れておられ
ましたが、「ありがとう
う」と喜んで下さいま
した。

プレゼントは座布団
です。早速袋から取り
出し、愛用して下さいま
す。(二月八日)



家事手伝いそれぞれ

積極的に参加して手
伝って下さいました。

二階の利用者様達が、色々な
家事のお手伝いをして下さいま
した。

「ええ運動になるから、ええなあ」
「それぐらい私に任せとき」
「こんな風にしたけど良かった？」

日頃からいろんなお手伝いを
して頂いていますが、今回も食
器拭き、裁縫、洗濯物たたみ、
夕食の盛り付けなど、皆さんが

と、それぞれの手伝いの内容
について職員に言ったり、お互
いに話をしたりしながらお手伝
いをされていました。

萌の中での日常生活を送る上
において、家事を手伝って頂く
ことは、皆様の生活にも張り合
いが出ているようです。
とっても助かりました。あり
がとうございました。
またよろ
しくお願いしま
すね。



おやつ作り

スポンジケーキが出来上が
りました。

炊飯器でおやつ作りをし
ました。

「何が出来るん？」「こ
れでいいの？」「私、押
さえるわ！」「簡単じゃな
〜」等々、皆さん協力して、
材料を混ぜて、混ぜて、し
ばらく待つと、ココア味の

「へえ、炊飯器でこん
なの出来るんじや〜」と
驚いていました。工夫をす
れば、炊飯器でもいろんな
物が作れるようですね。
出来上がったケーキは味
もとっても良く、皆様に美
味しく頂きました。
(二月二一日)



お裁縫を下さっています。針に糸を通すのも問題なく、見事な運針ですね。



食器洗いを手伝ってくれています。丁寧に洗ってくれて、食器がとてもきれいになりました。



洗濯物たたみを下さっています。向かい合ってお話をされながら畳んでいるのでしょうか。



こちらも洗濯物たたみをしてれています。しっかりとシワを伸ばして、キッチンと畳んでくれています。



左は、夕食の盛り付けを手伝ってくれています。丁寧におかずをお皿に並べてくれています。野菜の量もみんなが均等になるように入れてくれていますね。

